

学術論文

研究内容	研究大学
緑茶の約 7 倍の抗酸化作用	東北大学農学部
O-157 及びその他大腸菌、サルモネラ黄色ブドウ球菌セレウス菌腸炎ビブリオエルシニア等の食中毒起因菌の殺菌はするが、乳酸菌ビフィズス菌は殺菌しない選択的殺菌作用	東北大学農学部
ヘリコバクター・ピロリ殺菌作用	福島県立医科大学
ステビアを用いたヒスタミン解毒作用	東北大学農学部
ステビアが血糖値に及ぼす影響試験	谷文雄医学博士
ステロイドホルモン剤の副作用抑制	愛和アレルギー研究所 本村昌子医学博士
ダイオキシンの毒性分解作用（96%除去）	住化分析センター
有機リン有機塩素系薬剤の分解作用	内藤環境管理
ニコチンの分解作用	内藤環境管理
家畜の発情促進受胎率向上作用	宮崎県都城地区農業共済組合 家畜診療所研究会
採卵数及び正常胚数の少ない牛で採卵成績が向上	栃木県酪農試験場
肉質の改善と成長比較試験	北日本くみあい飼料
牛のルーメン内有用菌の増殖作用	東北大学農学部
養殖魚の生理活性及び免疫力向上による大幅増体	香川県真珠島養殖場
ステビア堆肥を用いた紋羽病の防除	JBB ステビア研究所
松の立ち枯れ予防	大分県林業試験場
生ゴミのたい肥化	JBB ステビア研究所
オーエスキーウィルスの抑制作用	福島県立医科大学
ロタウィルスの抑制作用	福島県立医科大学
ステビアを用いたバークの微生物増殖試験	大分県林業試験場
マダイブリにおける攝餌成長促進	協和醗酵工業(株)
ギンザケへの成長、肉質、食味試験	東北大学農学部
網掛川流域環境共生プロジェクト	鹿児島大学全学部
ステビア液の発芽発根作用	福岡県立農業高等学校専攻科

発表年月	学会名	内 容
1994年3月	第88回日本畜産学会	<u>ステビアのルーメン内細菌に及ぼす影響について</u> →東北大農学部動物微生物学研究室発表
1994年10月	平成6年度日本水産学会	<u>ニオイセンサーによる魚油酸化度判定法の開発と天然物質の魚油に対する抗酸化効果測定への適用</u> →東北大農学部水産化学研究室発表
1994年10月	平成6年度日本水産学会	<u>ニジマス飼料へのステビア抽出物の添加効果</u> →東北大農学部水産化学研究室発表
1996年9月	平成8年度日本水産学会	<u>ニジマスにおけるステビア抽出物の抗酸化油ストレス有効画分について</u> →東北大農学部水産化学研究室発表
1997年4月	平成9年度日本水産学会	<u>ステビア抽出物の抗酸化性に関する研究-I、抽出物の分画とその抗酸化性について</u> →東北大農学部水産化学研究室発表
1997年5月	第8回 抗ウイルス化学療法研究会	<u>ステビア抽出物質の抗 HIV 活性</u> →福島県立医科大発表
1997年6月	第77回 日本細菌学会関東支部総会	<u>腸管出血性大腸菌O157:H7 および他の食中毒起因菌に対するステビア抽出液の殺菌効果</u> →東北大農学部応用生物化学科発表
1997年9月	平成9年度日本水産学会	<u>ステビア抽出物の抗酸化性に関する研究-III、抗酸化有効成分の解明(1)</u> →東北大農学部水産化学研究室発表
1997年9月	平成9年度日本水産学会	<u>ステビア抽出物のニジマスにおけるヒスタミンの解毒作用について</u> →東北大農学部水産化学研究室発表
1998年4月	第71回 日本細菌学会	<u>腸管出血性大腸菌及び他の食中毒起因菌に対するステビア醗酵液の殺菌効果</u> →東北大学院農学研究科水産資源化学研究室発表
1998年4月	第11回 国際抗ウイルス研究学会 (米国サンディエゴ)	<u>ステビア抽出物質の抗 HIV 活性</u> →福島県立医科大発表
1999年8月	第16回和漢医薬学会	<u>ニジマスにおけるステビア抽出物のヒスタミン解毒有効画分とその作用</u> →東北大農学部水産化学研究室発表

2000年4月	第12回 国際抗ウイルス研究学会 (米国ボルチモア)	ヒトロタウイルスに対するシアル酸誘導体 MNS03 とステビア 熱水抽出発酵液の増殖抑制効果の解析 →福島県立医科大発表
2000年9月	平成12年度日本水産学会	ニジマスにおけるステビア抽出物のヒスタミン解毒有効画分とその作用 →東北大学院農学研究科水産資源化学研究室発表
2001年4月	平成13年度日本水産学会	ニジマスの肉質に及ぼすステビア抽出物の影響 →東北大学院農学研究科水産資源化学研究室発表
2003年4月	平成15年度日本水産学会	ステビア抽出液のニジマスにおけるヒスタミン代謝酵素に与える影響 →東北大学院農学研究科水産資源化学研究室発表
2003年4月	平成15年度日本農芸化学学会 大会	ステビア粉末由来の高温菌に関する研究 →福岡県立福岡農業高校専攻科
2005年5月	第1回ステビア草研究会	「研究経緯と更なる発展を目指して」をテーマに熊本県八代市にて開催

発表年月	発表雑誌	内 容
1996年 10月	食品と開発	ステビアの抗酸化活性とその作用 →東北大学農学部水産化学研究室
1997年 11月 VOL.41	MICROBIOLOGY and IMMUNOLOGY	<u>Bactericidal Activity of a Fermented Hot-Water Extract from <i>Stevia rebaudiana</i> Bertoni towards Enterohemorrhagic <i>Escherichia coli</i> O157:H7 and Other Food-Borne Pathogenic Bacteria</u> 腸管出血性大腸菌 O157:H7 および他の食中毒起因菌に対するステビア抽

		<p>出液の殺菌効果</p> <p>→<u>東北大農学部応用生物化学科</u></p>
1998年 5月 VOL.45	日本食品科学工学 会誌	<p><u>ステビア抽出末の抗酸化機構と無機塩の抗酸化性</u></p> <p>→<u>東北大農学部水産化学研究室</u></p>
1998年 5月 VOL.45	日本食品科学工学 会誌	<p><u>ステビアの抗酸化性</u></p> <p>→<u>東北大農学部水産化学研究室</u></p>
2001年 VOL.49	Antiviral Research	<p><u>Analysis of anti-rotavirus activity of extract form Stevia rebaudiana</u></p> <p><u>ステビア抽出液の抗ロタウイルス活性の分析</u></p> <p>→<u>福島県立医科大</u></p>
2001年 VOL.49	Journal of Poultry Science	<p>Effect of Dietary Stevia (Stevia rebaudiana) Extract on Gizzard Erosion and Ulceration Induced by Dietary Histamine in Broiler Chicks</p> <p>ステビア抽出液のブロイラーにおけるヒスタミンによる内臓侵食と潰瘍形成に対するステビア抽出液の影響</p> <p>→東北大大学院農学研究科水産資源化学研究室</p>